

学校教育目標 健康で心豊かな児童の育成

重点課題

- ・主体的に学び、高まろうとする児童の育成
- ・自ら進んで動き、他のために行動する児童の育成
- ・生命や人権を尊重し、共に生きる児童の育成
- ・心と体をたくましくきたえる児童の育成

児童の目標

- ひ ・ひたむきに学習する子になろう
- ろ ・労をおしまず働く子になろう
- は ・励ましあい助け合う子になろう
- た ・たくましく鍛える子になろう

子どもにとって、最大の教育環境は、教師自身である。

主体的対話的で深い学び

学校で学ぶ

思いや考えを伝え合う

チーム力  
確かな指導力

分かる・楽しい学習  
コミュニケーション力の育成

伝える力  
学ぶ力  
意欲

教師

【自分を高める】

- ・自己研鑽
- ・授業改善
- ・人権意識
- ・組織力・同僚性
- ・寄り添う支援、ソーシャルスキル

学校

任せて安心の学校

【環境】

- インクルーシブ教育
- 学校のユニバーサルデザイン
- 安心・安全な学校
- 温かな学級・学校

【支援教育】

- 教育相談体制の充実
- SCの効果的な活用
- いじめ、不登校対策

児童

- ・かしこい子(確かな学力)  
自ら学び考える子
- ・やさしい子(豊かな心)  
相手の気持ちを考え、思いやりのある子
- ・たくましい子(健やかな体)  
心身ともに健康で、最後まで

関係機関との連携

情報の発信

PTA活動

信頼関係

幼小中一貫教育の推進

要望

地域の教育力の活用

家庭で学ぶ

- ・基本的な生活習慣  
「いきいき広畑っ子 7つのトライ」
- ・家庭学習や読書

保護者・地域

子どもの成長

地域で学ぶ

- ・大根地区子どもを育む懇談会
- ・あいさつ運動
- ・学校応援団  
登下校の見守り  
読み聞かせボランティア